

奥会津だより



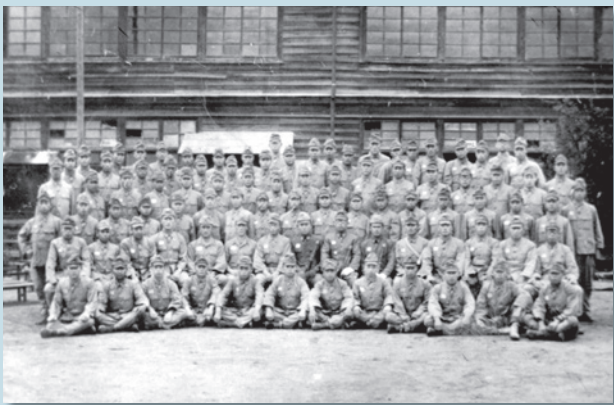
木こりの技術を学ぶ女性がいる
山に入れば一瞬の気のゆるみが
事故に至る
「考えんな！動きが止まる。直感
で動かねえと感覚が育たねえぞ」
親方の怒声は、男も女も無関係
の現場に響く



写真：菅 敬浩 撮影地：三島町

ふるさとがあることを忘れるな

五十嵐 渉 (平成二十年度当時三島中学校三年)



一番つらかったことは、生きることだな。日々生きるごとが大変だった、しかし、つらいごととばかりではねえぞ。楽しいごともうれしいごともあったわい。

兵隊の教育受けてるときは、何も考える暇なのねえ。にしゃ、兵隊なんつうのは、そんな生易しいもんじゃねえんだぞ。

にしゃに、これだけは言っておく。ここがにしゃのふるさとだつていうごとを忘れんな。どござ行つても、ここにはにしゃの親だちがいるつうごと。じいちゃんもあちゃんもここにゐる。それを忘れてもらつては困る。

祖父(五十嵐三夫)の話聞きながら、もし戦争に行つてそのまま帰つてこなかつたら、今の自分はいないのだと実感しました。

この町を出ても、時々帰つてきたいと思う。できれば自分が結婚するまで、祖父には元気で長生きしてほしいと思います。

取材ノート 「二十一年前の聞き書き・その後」

Q..実は二十数年前、ご両親が「私たち結婚します。」という発表をした場に私もいたのです。お父さんが、妙な顔でいたのをよく憶えています。

Q..子どもの頃の思い出は何かありますか？

渉さん..父親は仕事一筋、母親も勤めていたので、子どもの頃の記憶がありません。家族旅行とか何回行ったかな、という感じがします。ああ、父親と二人で釣りに行ったことがあります。なぜか早

年齢？八十二歳だ。大正十五年十月二十九日生まれ。(中略) そのあとは青年学校があったただわい。俺は農業を手伝つてた。にしゃ(お前)だちの頃は、米樽一つ、たががさつちや(持たされた)だぞ。発電所工事の準備の日雇いをやった。それ二年くれえやつたよ。そのあと兵隊検査受けて兵隊入隊。若松本隊の東部二四部隊に入隊した。兵隊生活か？歩兵。機関砲隊。肉攻つて言つてな、体に爆弾を抱いて敵の戦車に突っ込んで行く練習してた。じいちゃんは、六ヶ月教育受けて終戦だ。満十九歳だった。

この写真は入隊したときのもので、十九歳だ。

知った人なのいねえ。じいちゃん一人だわい。兵隊だぞ。群馬の新前橋に駐屯して、機関砲隊の肉攻練習してた。(中略)

退させられて。その時に大きな鯉が釣れたんですが、ひきが強く子ども私には、なかなか引き寄せられなかったんです。次第に川面の方に引っ張られて、「お父さん、お父さん」と叫んでも助けられないうです。どうしようもなくなつたギリギリのところ、腕をつかまれて助けてくれました。

Q..渉さんが三島中学校三年生の時に書いた文章、何か思い出すことはありますか？

渉さん..「お前のふるさととはここだというのを忘れるなよ。」というじいちゃんの言葉です。当たり前のようにですが、そつだよな、と思います。高校卒業後、消防学校に行っている時に実家に帰つて来ると、兵隊に行つていた時の話をじいちゃんから何度も聞きました。

Q..命がけて大変な職業である消防士になろうと思つたのは何故ですか？

渉さん..それは、東日本大震災ですね。ちょうど、自分の進路を決める頃にいろいろな報道を見ながら考えました。

Q..現在、三児の父だそうですね？

渉さん..そうですね。三児の父です。



祖父..五十嵐三夫さん (大正十五年生 平成三十年 没) 孫.. 五十嵐 渉さん (平成六年生 二十五歳) (消防士 三児の父)



渉さん..長男五歳、長女二歳、二女〇歳。毎日にぎやかですね。大変なこともあります。暑い日でも、三人一緒にくっついて寝ているんですよ。中学の時に、「結婚するまで、祖父が元気で長生きしてほしい。」と書きました。が、子どもが生まれ

父母がとても喜んでくれました。孫やひ孫の「力」ってホント偉大なと思いました。先日、両親と長男のランドセルを買いに行つてきました。

写真・文責..菅 敬浩

奥会津の鳥

写真・文..新国 勇

コチドリ

酔っ払いといえ「千鳥足」。コチドリはその酔っ払いよりもせかせか歩き、いそがしく飛びまわる。



切り花の収穫



昭和村を中心に展開するかすみ草の栽培農家では、本格的な収穫の時期を迎えた。

「白い透明感のある花びらを持つローダンを摘んで家に帰り、日向ぼっこをしていたお義母さんに見せる。今年のかすみ草の他に、約百種類の草花を少しずつ畑に植えている。

お花を通して生まれる会話や出会いに、喜びや励まし、大切な気づきをもたらしながら、日々は彩られていく。畑に時く種は、育てる花は、あの人に、そしてまだ見ぬ誰かに、繋がっている。花が、夢になる。」 (昭和村..菅家洋子さん)

写真・文責..菅 敬浩

奥会津巨木めぐり

北野神社の

大スギ

(南会津町大新田)

スギの巨木では会津地域でもっとも大きい。幹回り九・八七m、直径三・一m、根回り十三・九mもあり、横綱級の貫禄。損傷も見られず樹勢旺盛。南会津町大新田集落をはしる国道四〇一号沿いに標柱が設置されている。ここから杉木立をめざして田んぼのなかをすすむと鎮守があり、大スギは社の背後にそびえている。



写真・文：新国 勇

奥会津の郷土料理

青梅の甘露煮

梅仕事の季節が到来すると、少し傷ついた梅を甘露煮にもらうのがうれしかった。梅干しや梅酒は子供にはさほど興味が無いが、甘くトロリと煮た梅は程よい酸味が残っていて、冷えた甘梅をツルリとのに流し込んだり、氷水で割って飲んだり、夏の格好のおやつとなる。



奥会津の神々



神々の道刈り

それは、「神々の道」と呼ばれていた。

三島町早戸地区に、二十三体の神々が祀られていると聞き、訪ねたのは二十年前の晩秋のことだった。山は思いのほか草木が繁り、道らしきものもない。途方に暮れていると、出会ったムラの人が快く案内してくれた。観音様、不動様、稻荷様お地藏様……神々は岩室や木立の陰にひっそりと座し、足元には菓子や小銭が供えられている。

「山さ入るとき、山の神様とこの枝折って手さ挟んで、守ってくんつえとお願ひする。帰ってきたら、ありがとございましてと頭さげてな。いつも神様が守ってくれるから春になるとみんなで神様の道の草刈ってきれいにするんだよ」ムラの人は深々と頭を垂れ、手を合わせた。今も、早戸地区では毎年六月二十日を「神々の道刈り」の日とし、神々に通じる道の草刈りを続けている。

(写真・文 渡部 和)

只見線

写真・文：竹島善一

只見線の名称は元来、小出と大白川駅間の路線をそう呼んだが、昭和四十六年、六十里峠を長いトンネルが貫通し、会津若松と上越線の小出が直通した。これを機に、会津若松までを只見線と呼ぶようになる。

只見線は水力発電所建設のために敷設が進められたが、ダムの適地は川に沿った山峡の急峻の地である。鉄道の敷設には適さない。その悪条件を承知で敷設した結果が、現在の只見線の鉄道風景となる。



昭和54年4月 会津川口駅

『会津 蘇る記憶Ⅲ』より

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を買おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「にしゃ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で10名様に、只見町の「ぜんまい綿毛織りのコースター」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2019年8月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号112号で発表いたします。

◎110号「おもしろかった」の答え：面白かった

たくさんのご応募ありがとうございました!



読者コーナー



●奥会津巨木めぐりに共感を覚えます。樹木の生きるところに、自然が豊かで、人々も寄り添うように住むことができたのでは、と思います。巨木は長年の歴史を蓄えて、何も言わないですがいろいろと語りかけていると思います。次の世代へと大切に見守りをお願いいたしたく存じます。(日立市：S.Mさん)

●忙しい日々の中「奥会津だよりの」世界に浸ると、時間がゆっくり流れるように感じます。聞き書き百選の“その後”は、こうやって人も記憶も繋がっていくのだと、過去から未来への希望を感じました。(福岡県：H.Kさん)

●少ない紙面にたくさんさんのテーマ。美しい写真と丁寧な取材の労が伺える。「聞き書き百選」のじいちゃんの話が良かった。(東京都：I.Yさん)

●110号の「雷神様」を懐かしく読みました。私は昭和16年、貝原集落で生まれました。雷が落ちたことは本当だと思います。小学5年生ごろ、雷神様への急な山道を登ったことを覚えています。(南会津町：S.Aさん)

●味のある地方紙ですね。奥会津がこんなに奥深いものとはびっくりです。(川崎市：E.Tさん)



エゾアジサイ

奥会津だよりの
定期読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuazu.net



奥会津ロックフェスティバル2019

同時開催

奥会津うまいもんフェア&奥会津ハンドメイドフェア

奥会津ロックフェスティバルの会場にて「奥会津うまいもんフェア&ハンドメイドフェア」を開催いたします。奥会津の食・手芸品の両方をお楽しみください。

●日時：8月24日(土) 10時開場 18時終了予定

●場所：奥会津昭和の森キャンプ場(福島県大沼郡昭和村大字大芦字小矢ノ原)

●出演アーティスト：MONKEY MAJIK、笹川美和、スマートソウルコネクション、RAMMELLS、BananaLemon、大竹涼華

奥会津イベント情報

8月~9月

期日	イベント名	町村名	場所	問合せ
8月3日(土)	Mon☆Ten	柳津町	寺家町町内	NPO法人 奥会津まちづくり支援機構(奥会津観光内) ☎0241-42-2244
8月3日(土)~4日(日)	第43回沼沢湖水まつり	金山町	金山町 沼沢湖畔	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第27回真夏の雪まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月4日(日)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃の舞台	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
8月10日(土)	霊まつり大法要、稚児行列、流灯花火大会	柳津町	大法要・稚児行列：圓藏寺 流灯花火大会：道の駅会津柳津裏只見川沿い	霊まつり流灯花火大会実行委員会 ☎0241-42-2346
8月18日(日)	鎮守神祭奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月25日(日)	第2回戊辰セミナー	只見町	只見振興センター	奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会 (只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
9月1日(日)	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ		只見駅前通り	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ実行委員会 (只見町観光商工課内) ☎0241-82-2141
9月1日(日)	伊南川刺し網解禁	伊南地域	伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
	第6回南会津そばウォーク	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月5日(木)	山入歌舞伎	金山町	芸能伝承館	金山町教育係 ☎0241-54-5360
9月7日(土)	南郷豊年まつり	南郷地域	南会津高校グラウンド	南会津町商工会南郷支所 ☎0241-72-2041
	第35回歌舞伎の夕べ	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月8日(日)	第3回戊辰講演会	只見町	只見振興センター	奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会 (只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
9月14日(土)~15日(日)	古町のまつり	伊南地域	古町通り	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	ふくしま尾瀬檜枝岐マウンテンフェス	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月21日(土)~10月6日(日)	山人秋まつり		檜枝岐村内(旅館・民宿)	
9月28日(土)	ぼっこやま てづくりマーケット	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	道の駅からむし織の里しょうわ ☎0241-58-1655
9月28日(土)~29日(日)	さいたま市南会津町親善ソーデーマーチ	館岩地域	館岩地域	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月29日(日)	継之助ウォーク	只見町	只見町内	奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会 (只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
	伊南川あゆまつり~秋の収穫祭	伊南地域	古町農村公園	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
9月30日(月)	九月堂おこもり	柳津町	福満虚空藏菩薩園藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
	Mon☆Ten		寺家町町内	NPO法人 奥会津まちづくり支援機構(奥会津観光内) ☎0241-42-2244



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：7月16日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター内奥会津振興センター TEL.0241-48-5525
http://www.okuazu.net ✉webmaster@okuazu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。